



東京生糸商會事務部申合規則

草案丙号



114  
A107  
3

東京生糸商會庶務部申合規則

第一款

役員等級及責任ノ事

第一條 本商會役員ノ等級ハ之ヲ八等ニ分ク三等以上ヲ重役四等五等ヲ中役六等以下八等以上ヲ平役ト稱ス其役名等級左ノ如シ

名	役	等級	
		重役	中役
頭取	頭取	一等	二役
監察部長	監察部長	二等	三役
取締役	取締役	三等	四役
高議委員	高議委員	四等	五役
支配人	支配人	五等	六役
世話役	世話役	六等	七役
副世話役	副世話役	七等	八役
課長	課長	八等	
課僚	課僚		
手代	手代		
手代	手代		

第二條 頭取ハ本商會定款第五章ニ準據シテ商會營業ノ全局ヲ總理シ一切ノ事

大正十一年四月  
大隈侯爵邸寄贈

務ヲ處分スルノ責ニ任ズ

第三條 監察部長ハ本商會定款第五章ニ

準據シ常ニ頭取ヲ補ケ而シテ監察部務

一般ヲ管理スルノ責ニ任ズ

第四條 營業部長ハ本商會定款第五章ニ

準據シ常ニ頭取ヲ補ケ而シテ營業部務

一般ヲ管理スルノ責ニ任ズ

第五條 取締役ハ本商會定款第五章第六

條ニ準據シ商會營業ノ全体ニ注意シ具

事ヲ頭取及ヒ監察營業兩部長ニ謀ルノ

權アリトス

第六條 監督ハ頭取及ヒ監察部長ノ指揮

ヲ受ケ常ニ本支店ニ於テ執行スル業務

ヲ監察シ諸帳簿ヲ點檢シ而シテ監察上

ノ下ヲ確實ナラシムルヲ於テハ頭取

及ヒ部長ニ對シ擔保ノ責ニ任ズ

第七條 支配人ハ頭取及ヒ營業部長ノ指

揮ヲ受ケ其部ニ於ケル各課ノ事務ヲ管

理シ常ニ得意先ノ景況ヲ視察シ營業部

ノ全局ヲ整理スルニ於テハ頭取及ヒ部

長ニ對シ擔保ノ責ニ任ズ

第八條 監事ハ監察部ニ於ケル重役ノ指

揮ヲ受ケ其部務ヲ專管シ之ヲ調理スル

ヲ於テハ頭取及ヒ監察部長ノ重役ニ對

シ擔保ノ責ニ任ズ又計算出納兩課ノ課

長ヲルベシ



總覽	會計	部	業	營	部	察	監
重役五人	一人 二人 二人			營業部長 支配人		監事部長 監事	
中役六人	二人 四人	貸付		高務 出納 世話役 副世話役	課長	課僚 課僚	課僚 課僚
平役十六人	七人 七人 二人 二人 二人			手代 手代 手代 手代 手代	小使 給仕		小使

第二條、支店ハ其地ニ於ケル營業ノ繁閑ニ因リ一等二等ヲ分ツベシ而シテ其一等ト稱スル支店ノ組立ハ左ノ如シ

部	監	等	部	業	營
	監事	一等 二等 三等 四等 五等 六等 七等 八等 業外一等 業外二等			
		支配人			
		世話役 副世話役			
		手代 手代 手代見習 給仕			

第三條 二等支店ノ組立ハ左ノ如シ

總覽	會計	部	業	營
重役二人				一等 二等 三等
中役三人	二人	支配人		課名 高務 出納 世話役 副世話役
平役六人	一人 二人 三人 三人 二人 一人			手代 手代 手代見習 給仕

第四條 出張所ノ組立ハ左ノ如シ

總覽	會計	部	業	營
中役五人	一人 二人			一等 二等 三等 四等 五等 六等 七等 八等 業外一等 業外二等
平役四人	一人 三人 二人 一人	課僚 課僚 小使		手代 手代見習 給仕

總	部	業	警
		賃付	賃替
中役一人			副書記
平役一人			
等外一人			課名小使

第五條 右ノ如ク定ムト雖ル事務ノ繁閑ニ因リ之ヲ増減シ又ハ兼攝代理セシムベシ

但役員ハ人負多カニナシテ而シテ其責任ヲ重クスルヲ主トスベシ

第六條 支店ニ於テ執行シタル營業上ノ事柄ハ之ヲ細記シテ毎日頭取ニ報告スベシ

第三款

本局ノ事

第一條 本局ハ頭取在勤シテ本商會ノ全局ヲ總理シ各店ヨリ蒐集スル萬般ノ事務ヲ整理スル所トス

第二條 記録課ハ諸願伺及ヒ商會ノ名簿ヲ用ウル書翰往復會議案件録口誌等一切ノ書類及ヒ株式券狀ノ諸務ヲ管理シ其書類ヲ整理スル所トス

第三條 庶務課ハ役員月給旅費筆墨紙營繕及ヒ諸雜費ノ支拂ヲ管理シ經費ノ定式臨時ヲ區別シテ其帳簿ヲ整理スル等

第四款

ハ下ヲ掌ル所トス

監察部ノ事

第一條 監察部ハ部長在勤シテ臨時監督  
及ヒ監事ヲ各店ニ派遣シ金錢有高及ヒ  
諸帳簿ノ正實ナルヤ否ヤヲ點檢ナサシ  
メ又營業上ノ正否及ヒ役員ノ勤惰ヲ監  
察シ將テ計算及ヒ出納ノ事務ヲ整理ス  
ル所トス

第二條 計算課ハ本商會一切ノ諸計算ヲ  
管掌シ各課ニ配置シタル帳簿ノ差引突  
合ヲ為シ毎日事務ノ終リニ於テ總計算  
日表並ニ其他ノ諸表ヲ製スル等ノ了ヲ  
掌ル所トス

第三條 出納課ハ商會一切ノ金銀錢出納

ヲ管掌シ一定シタル手續ニ從ヒ收納支  
拂金錢有高ノ諸帳簿ヲ整理シ銀行懸引  
及ヒ金庫ノ管守又ハ毎日事務ノ終リニ  
於テ有金日表ヲ製スル等ノ了ヲ掌ル所  
トス

第五款

營業部ノ事

第一條 營業部ハ部長在勤シテ本支店ニ  
於ケル役員ヲ指揮シ生糸ノ商業荷為換  
及ヒ諸貸付等ノ了ヲ負擔シテ營業上一  
般ノ了ヲ管理スル所トス

第二條 高務課ハ常ニ生糸ノ商況ニ注意  
シテ賣買及ヒ製糸注文取次並ニ品格ノ

検査等ヲ負擔シ其帳簿ヲ整理シ又毎日  
事務ノ終リニ於テ相場日表及賣買日表  
等ヲ製スル所トス

第三條 荷為替課ハ為替荷物運搬ノ手續  
ヲ為シ又其荷物ヲ管守シ常ニ各地金融  
ノ景況及ニ引合先キノ狀況ヲ視察シ時  
時重役ニ具申シ其帳簿ヲ整理スル所ト  
ス

第四條 貸付課ハ製糸資本貸付生糸抵當  
貸付等ノ諸件ヲ管掌シ貸金証書及ニ抵  
當品ヲ監守シ常ニ取引上ノ景況ニ付テ  
得意先ノ盛衰ヲ視察シ之ヲ重役ニ具申  
シ其帳簿ヲ整理スル等ノ下ヲ掌ル所ト

夕

第六款

役員心得ノ事

第一條 本高會ノ役員ハ一定セル諸規則  
ハ勿論頭取ヨリ時ニ指令スル所ノ趣旨  
ヲ確守シ精細深切ニ分掌ハ事務ヲ取扱  
フベシ且ツ其執務ノ餘暇ニハ本高會營  
業上實際ノ得失ヲ參考シ其注意ヲ怠ラ  
ザルベシ

第二條 各課ノ役員ハ專意ニ其分掌ヲ擔  
當シ假令事務繁劇ナリト雖モ重役ノ指  
圖アルニ非レバ決シテ甲課ヨリ乙課ノ  
事務ヲ助ケル等ノ下アルベカラズ



第三條 本高會ノ事務ヲ取扱フニ於テハ  
必ス一定ノ手續ニ從ヒ其順序ヲ亂スベ  
カラサルハ勿論ナレトモ其職務ノ間主  
シテ便利快話ヲ旨トシ常ニ得意ナシテ  
煩勞ノ心ヲ起サシメザル様注意スベシ  
第四條 金錢出納諸手形發行等ニ付テハ  
總テ頭取監督中ノ檢印ヲ受クベシ  
第五條 各課ノ權内ニ於テ處分シ得ル事  
件ノ外事情ニ由リテ斟酌ヲ要シ又ハ例  
規ニ據リ難キ事柄ハ總テ頭取及ヒ其部  
ノ重役ニ稟議シテ其指揮ヲ受クベシ

第六條 本高會ノ諸帳簿記入方ハ各店共

一定シタル様式ニ從フベシ又營業ノ都  
合ニ由リ補助簿等ノ増加ヲ要スルハ  
計業課ニ於テ先ツ其様式ヲ草シ頭取ノ  
承諾ヲ經タル上之ヲ用ユルヲ得ベシ  
第七條 諸役員等其權内ニ於テ正シク執  
行シタル事件ヨリ生シタル本行ノ義務  
ハ之ヲ自身ニ擔當スルニ及ハ不然ニ  
規則ニ背キ又ハ權外ノ事ヲ興シ之ガ為  
メニ本高會ヘ負ハシメタル損失ハ役員  
自カラ其辨償ノ責ヲ免レサルベシ  
第八條 諸役員ハ毎朝出勤ノ節重役ノ面  
前ニ於テ出勤簿ヘ押印スベシ若シ病氣  
等ニテ出勤シ難キ節ハ定式ノ出勤期限

スデニ同課ノ者ハ通知シ同課ノ者ヨリ  
重役ノ内ハ申出テ其旨ヲ出勤簿ニ記載  
スベシ

但營業時間中私用ニテ他出スルハ  
平役ハ其課長ニ諸課長ハ其部ノ重役  
ハ其旨ヲ申出ツベシ

第七款

雜則ノ事

第一條 重役ヲ除クノ外諸役員ヲ傭入ル  
中ハ確實ナル保証人二名以上ノ連印シ  
タル身元引受状ヲ出サシムベシ  
但臨時傭入ノ者ハ保証人一名タルベ  
シ

第二條 頭取取締役ハ臨時各店各課ノ諸  
帳簿諸証書類抵當品等ヲ検査シ其擔保

人ニ對シ質問ヲ為スルベシ

第三條 金庫ノ鎖鑰ハ出納課長諸倉庫ノ  
鎖鑰ハ為替課長貸付課長之ヲ保管スベ  
シ

第四條 近火其他非常ノ事アルハ本商會  
諸役員ハ速ニ馳付各自擔保ノ諸帳簿類

又ハ保管ノ物品等夫ニ保護ノ處置ヲナ  
スベシ

第五條 諸役員ノ月給年俸旅費其他常用

臨時ノ入費ハ庶務課ニテ明細書ヲ製シ  
頭取監督ノ檢印ヲ受ケ出納課ヨリ之カ

渡方ヲナスベシ

但月給ハ毎月二十五日ヲ渡日トナス

第六條 本商會諸役員ハ各管掌ノ事務協

議ノ為メ本店ニ於テ毎月一度午後四時

ヨリ同六時ヲテ集會ヲ開クベシ其日限

ハ豫メ頭取ヨリ通知スベシ

但支店詰ノ役員ハ其總代トシテ一名

ツゞ此會へ出席スベシ

第七條 前條ノ會議ニ於テ事ヲ決スルニ

ハ列席人負半数以上ノ説ヲ以テ衆議ト

定メ之ニ從フ可キモノトス尤時宜ニヨ

リ頭取之カ可否ノ裁決ヲ為ス丁アルベ

第八款

宿直心得ノ事

第一條 宿直ハ各課役員四等以下ノ者輪

番ニ之ヲ勤ムベシ毎夜當直ノ人負ハ左

ノ如シ

四等以下ニテ二人 不寝番一人

八等以上

第二條 營業時間後商會宛ニテ至急ノ書

狀列來ノ節ハ直ニ之ヲ頭取若クハ記録

掛へ送達スベシ

第三條 宿直長ハ午後十時ヲ限リ徧ク店

内ヲ見廻リ後戸締ヲナスベシ

第九款

第一條 本商會役員ノ月給並ニ旅費ノ事

如左

日管	滞在	旅費	一日	月給	役名	等級
					取頭	一等
					監取頭	二等
					監取頭	三等
					監取頭	四等
					監取頭	五等
					平	六等
					平	七等
					平	八等
					代手	外等
					小	外等
					代手	外等
					給	外等

第二條 總テ八等以上ノ役員ハ賞與配當

ヲ得ベシ

但其割賦方ハ頭取取締役ノ議定スル所

第三條 月給ハ月ノ大小ニ拘ハラズ支給

スベシ尤モ新任退役轉免ノ者ハ總テ日

割ヲ以テ計算スベシ

第四條 旅費ハ一日十里詰メノ割合ヲ以

テ計算シ端里數一里未滿ハ之ヲ切捨

一日以上六里未滿ハ半數六里以上ハ一

日分ヲ給スベシ

第五條 近傍旅行其日歸リノ分ニシテ往

返四里未滿ハ旅費ヲ給七廿ル下シ四里

以上六里未滿ハ旅費半數ヲ給スベシ尤  
 至急用ニテ乗車ヲ要スルハ其車賃ヲ  
 合セ給スベシ又用向ノ都合ニ由リ止宿  
 スルハ滞任日當全數ヲ給スベシ  
 但往復六里以上ハ其止宿スルト否ト  
 ニ拘ハラズ滞任日當ヲ支給スベシ  
 第六條 總テ私用ニテ旅行スルキハ一切  
 旅費ヲ支給セサルベシ  
 第七條 月給前借ハ之ヲ嚴禁スト雖モ高  
 會ノ用向ニテ他所一出張ノ者ハ旅行月  
 數ヲ見積リ六ヶ月以上ナラバ三ヶ月分  
 ヲ出立前ニ貸渡シ出立後毎月ノ渡高ニ  
 引之ヲ差引クベシ若シ一ヶ年以上ノ用

向ナラバ其時ノ協議ニ從フベシ見積リ  
 六ヶ月以内ノ旅行ハ前借ヲ為スベカラ  
 ス總テ旅行ノ者ハ月給受取其他留主引  
 受ノ者ヲ定メ之ヲ其部長ハ届置クベシ  
 第八條 本人及ヒ父ノ疴氣等ニテ無據不  
 勤ノ者ハ三十日以内ハ月給全額ヲ給シ  
 三十日以上ハ月給ノ半額ヲ給シ九十日  
 以上ハ給スルナカルベシ  
 第九條 日給ノ者一般ノ休日ニハ給シ目  
 己ノ不勤ニハ一切給セザルベシ  
 第十條 臨時傭入ノ給料ハ頭取及ヒ兩部  
 長ノ評議ヲ以テ取極メ支給スベシ  
 第十款

役員禁令ノ事

第一條 本商會ノ役員タル者ハ賣買ノ本  
人又ハ向屋トナルヲ禁ズ

第二條 諸役員ハ商會機密ノ事情及ヒ向  
屋又ハ引合先ノ模様等ヲ謾ニ他言シ又  
ハ店前ニ於テ其身代ノ優劣ヲ互ニ評詔  
スルヲ嚴禁スル

第三條 本商會ノ役員タル者ハ本商會ヘ  
對シ他人ノ引受人又ハ保証人トナルヲ  
ヲ許サズ

第四條 本商會ノ役員タル者ハ商會ノ有  
金ヲ私用ニ供スベカラズ又役名ヲ以テ  
他人ヨリ借入金ヲナスベカラズ將テ本

商會ヘ對シ他人ノ引受又ハ保証人トナル  
ルヲ許サズ

第五條 本商會ニ於テ施行スベキ事件ハ  
必ス書付ヲ以テ證據トナシ些少ノ事ヲ  
リト雖モ言語ノミヲ以テ證據トナスル  
ヲ禁ズ

第六條 監督支配人又ニ其他ノ役員偶然

他方ノ引合先ニ於<sup>官府會社高</sup>人<sup>別ナク</sup>本商會既定ノ  
常務外ニ係ル新規ノ事業ニ付高議ヲ受  
ル場合ニ逢フモ其事業ハ假令商會ノ本  
業タリモ一己ノ考案ヲ以テ其約定又ハ  
引受等ヲ為スルヲ許サズ

第七條 諸役員ノ内品行正カラス振分ノ

財ヲ散スル者アルバ假令其財ノ由来ス  
ル所明白ナリト雖他ヨリ嫌疑ヲ受ル  
テアルレバ本行ノ信任ニ関シ其他ニ必ス  
禍ヲ醸生スルノ恐れアルモノナレバ忌  
憚ナク之ガ處分ヲ為スベシ

第十一款

役員賞罰ノ事

第一條 諸役員並ニ等外臨時傭入ノ者ト  
雖此事務ヲ勉勵シ非常ノ功勞アル片ハ  
頭取監督及ビ其店ノ長役協議ノ上臨時  
賞金ヲ與ヘ或ハ昇任ヲサシムベシ  
第二條 検査役若シ生糸ノ検査ヲ粗漏ニ  
スル等ノ行為アル片ハ相當ノ過怠金ヲ

差出サシムベシ

第三條 役員其受持ノ事務ヲ怠リ又ハ疎  
漏等ヨリ不都合ヲ生スル片ハ其者ノ月  
給半ヶ月以上二ヶ月以下ノ償金ヲ差出  
サシムベシ

但重役ノ評議ニヨリ適宜ニ之ヲ施行  
スベシ

第十二款

規則加除改正ノ事

第一條 此申合規則ハ實際上獨不都合  
ヲアルレバ頭取及監督取締役協議ノ上何  
時ニテモ之ヲ加除更正スルヲ得ベシ

此處務部申合規則ハ本商會ノ株主中協議  
ノ上取定メタル証據トシテ各姓名ヲ自記  
シ調印致候也



